

オープンセミナー2026 Summer 講演

データ主権という選択

SaaS終焉の潮流とDomino 2026が拓く未来

そして私たちが問いかけること

田中 耕二 代表理事

一般社団法人 ノーツコンソーシアム



Notes Consortium
General Incorporated Association, Japan

今日の問い

この講演を通じて考えていただきたいこと

「あなたの会社の知識・データは、
今どこで動いていますか？」



クラウドAIに業務データを入力していませんか？



データの管理権は本当に自社にありますか？



ベンダーが止まった時、あなたのビジネスは止まりますか？

ソブリンAIとは

第2幕：世界の潮流



「すべての国は自国のAIを自ら開発し、所有すべきだ」（発言要旨）
— NVIDIA ジェンスン・フアン CEO

NVIDIAの議論をもとに整理したソブリンAIの5つの層

1

エネルギー

自国エネルギー生
産

2

コンピュー
ティング

計算インフラ

3

データ

データ主権

4

AIモデル

独自モデル開発

5

アプリ
ケーション

主権的なAIアプリ

パブリッククラウドAIの3大リスク

第2幕：世界の潮流



① 暗黙知の流出リスク

競争優位の源泉となるビジネス知識・顧客データが、AIモデルのトレーニングデータとして外部に吸収され、間接的に競合他社に利用される危険性



② 説明責任の欠如

外部LLMの意思決定プロセスはブラックボックス。GDPR・個人情報保護法などへの準拠・責任分界点の明確化が極めて困難



③ キルスイッチリスク

地政学的有事やベンダーのライセンス変更・突然のサービス停止に対し、自社で防御策を講じる手段が完全に欠如

「SaaSの終焉」仮説

バイブコーディングが変えるソフトウェアの世界

「ビジネスアプリという概念は、エージェント時代に崩壊する」

— Microsoft CEO サティア・ナデラ（発言要旨）

「SaaSの終わりとAIの始まり」— Zuora 創業者 ティエン・ツォ

\$ 2,850億

SaaSポカリプスで
48時間に消失した
市場価値（2026年2月
・約43兆円）

35%

すでに一部SaaSを
内製ツールに置換した
企業

27～42%

AI生成・支援による
コードの割合
（各種調査 2026年）

78%

今後さらに内製開発を
加速すると回答した
企業

しかし、SaaSはすべて死ぬわけではない

薄いラッパー型だけが淘汰される

淘汰されるSaaS

- 単純なUIラッパーのみ提供
- AIエージェントからのアクセスを拒否
- MCP非対応・API未整備
- 差別化されていない汎用ワークフロー

生き残るSaaS

- コンプライアンス自動対応（GDPR等）
- 長年蓄積のドメイン知識・業界標準
- SLA保証・責任の外部委託
- セキュアなMCPサーバー公開済み

→ 正解は「全廃」でも「全依存」でもなく、ハイブリッド戦略

ハイブリッド・システム戦略が正解

コア領域と非コア領域で最適なアーキテクチャを選ぶ



コア領域：ソブリン型

- 競争優位の源泉となる知識・データ
- 機密情報・財務・顧客情報
- 独自業務フロー・プロセス設計

→ Domino IQ + ローカルLLM



非コア領域：MCP対応SaaS

- 経理・人事労務・グローバル税制対応
- 法令改正への自動追従
- 標準化されたERPとの連携

→ AIエージェント接続可能なもの

なぜ今、Dominoが再評価されるのか

第3幕：Domino 2026という答え

30年間、Dominoは「データを手放さない」思想を一貫して守ってきた。
その思想が、ソブリンAI時代の答えそのものになった。



置換コストはDomino維持の10倍

他プラットフォームへの移行コストは、Domino継続運用コストの10倍に達するという試算がある



ROI 392%・開発効率50%向上

Forrester TEI調査（HCL委託／2022年）によるDomino投資対効果。既存アセットを活かした高いビジネス価値



ACL・セキュリティの完全維持

既存のアクセス制御リスト（ACL）がそのままAI参照時にも適用。ガバナンスを犠牲にしない



後方互換性と長期運用の信頼性

数十年にわたる運用実績と後方互換保証。ビジネスを止めることなく進化できる

Domino IQ – ソブリンAIの実装

完全オンプレミス型プライベートAI



完全にDomino環境内で動作する組み込みオフラインAI。
データはファイアウォールの外に一切出ない。

対応LLM

Llama 3.1 ・ Mistral
・ Gemma 2
日本語 : ELYZA-
JP-8B-GGUF

開発API

LotusScript / Java
NotesLLMRequest
/ Response

RAG対応

Dominoデータを知
識ソースに
自然言語でクエリ
可能

接続不要

インターネット不要
OpenAI互換API規格
対応

RAG × Domino — 組織の記憶を解き放つ

数十年分の社内知識を、自然言語で検索する



データは自社インフラの外に一切出ない
— 完全なデータ主権を維持したまま知識を活用できる

メール要約・タスク抽出

蓄積したメールスレッドを即座に要約し、アクション項目を自動抽出

過去事例の自然言語検索

数千件の案件DBを「○○に似た事例は？」で即座に照会

RFP・報告書の自動生成

関連文書をRAGで参照しながら、ドラフトを自動生成

Domino × MCP — エージェント時代への対応

AIエージェントの「信頼できる情報基盤」へ

Model Context Protocol (MCP) は、AIエージェントがアプリケーションデータへ構造化・安全にアクセスするための標準規格。

MCP非対応のSaaSはエージェントから「迂回」され、存在を忘れられる。

AIエージェント
(Claude等)

MCP
サーバー

Domino DB
(ACL維持)

RBAC・アクセス制御の
維持

DominoのACLがそのまま
MCP経由でも適用

リアルタイムデータ参照

エージェントがDominoデ
ータを動的に照会

ログ・監査証跡の確保

誰のどの権限で実行したか
完全追跡

HCL Domino 2026 リリース

Proven Foundation. Intelligent Future.



Domino IQ with RAG

オンプレミスRAG AI搭載。
組織の知識資産をセキュアに活用



BSI認証・Passkeys

フィッシング耐性のある
パスキー認証。世界最高
水準のセキュリティ



ClamAV統合

アンチウイルスを
Domino環境内に完全統
合



Notes UI 完全刷新

1,000超のコミュニティ意
見を反映したフラットデ
ザイン



クラウド非依存

クラウド移行なしに最新
AIを導入。既存インフラ
をそのまま進化



移行ではなく「進化」

既存アプリ・データをそ
のまま活かしながらアッ
プグレード

日本企業が今すぐ取るべき3つの行動

第4幕：日本企業への提言

01

データ棚卸し

自社の知識・データを「コア（競争優位の源泉）」と「非コア（汎用）」に分類する。どのデータをクラウドに預けていいかを明確にする。

02

ソブリン領域の特定

コア領域については、パブリックAIへのデータ送信を直ちに見直す。ローカルLLM・オンプレAIの実装計画を立てる。

03

Domino資産の再評価

すでにDominoを使っている企業は、その資産が「ソブリン・スタック」の核となり得ることに気づいてほしい。移行より進化を選ぶ。

トークンマクシングの罠とAIガバナンス

消費量 ≠ 生産性。コスト管理と人間評価が鍵



10倍のAI推論コストをかけても、2倍の成果しか得られない投資効率の悪化が現場で発生している（Uber等）

FinOpsによる AIコスト追跡

エージェント推論コストを常時監視。突発的なコスト変動を把握し、不必要なトークン消費を排除する

Human Evaluation （人間評価）体制

プロトタイプ構築後6ヶ月以上が経過した段階でセキュリティ監査・スケーラビリティ・技術的負債を定期評価

プロンプト ガバナンス

社内データを入力する際のPIIマスキング・プロンプトライブラリの知財管理・AIエージェントのアクセス権失効体制

一般社団法人 ノーツコンソーシアムとは

第5幕：一緒に作ろう

2025年12月設立 — 1995年発足のノーツコンソーシアムと連携する新法人



ユーザー企業

- Notes/Dominoを実際に利用する企業の担当者・管理者
- 業務活用のノウハウ・課題を持ち寄り共有
- 日本全国の様々な業種・規模の企業



ベンダー・パートナー企業

- Domino関連製品・ITサービスを提供する企業
- 技術支援・導入支援・製品紹介
- HCL Software・ISV・SIerなど

両者への技術支援・教育を担う当法人。※代表は同一人物（田中耕二）が兼務

新法人として取り組む4つの活動

AI × Domino時代に向けた活動強化



AI × Domino 研究会

Domino IQ・ローカルLLM・MCP連携の実践研究。会員企業のAI導入を技術面から支援



技術者育成プログラム

若手・中堅エンジニア向けの開発ハンズオン・セミナー・資格支援



イベント・情報発信

本オープンセミナー（2026年8月）をはじめ年間複数回の勉強会・セミナーを開催



パートナーエコシステム構築

技術パートナー・有識者・賛同企業のネットワークを拡充し、日本のDomino活用を加速

ソブリンAIの実装は、一社では難しい

だからこそ、コミュニティが必要

ソブリンAIの実践には、技術だけでなく
法規制・セキュリティ・業務設計・現場知識、それぞれの専門家が集まる場が必要です。



法規制・コンプライアンス専門家

GDPR・個人情報保護法への準拠、データ
移転ルールを熟知した有識者



セキュリティ・ガバナンス知見

AIエージェントのアクセス制御、監査証跡
設計、リスク評価の実践者



AI・LLM実装エンジニア

ローカルLLM構築・RAG設計・Domino IQ
連携の実践技術者



現場ユーザー企業の声

実際の業務課題・成功事例・失敗体験を持
つDominoユーザー企業

一緒に作りましょう

パートナー・有識者・賛同企業 募集



技術パートナー

- AI・LLM製品・ソリューション提供
- Domino連携・インテグレーション
- クラウド・オンプレ環境構築支援



有識者・専門家

- AI・セキュリティ・法規制の専門知識
- 研究・講演・コンテンツ執筆
- 勉強会・セミナーへの参加・登壇



賛同企業・スポンサー

- コミュニティ活動への賛同・支援
- ブランド認知・採用活動との連携
- 共同イベント・プロモーション

ご興味のある方は、ぜひ当会までご連絡ください

まとめ — そして、問いへの答え

「クラウドに全部預けることが“モダン”だと思っていた時代は終わった。
Dominoユーザーは、30年間ずっと正しかった。」

- 1 データ主権・ソブリンAIは、もはや経営課題
- 2 Domino 2026とDomino IQは、その答えの一つ
- 3 ハイブリッド戦略：コアはソブリン、非コアはMCP対応SaaS
- 4 **一緒に実装するために、一般社団法人ノーツコンソーシアムへ**